

## どれだけ知ってる？ 牛にまつわるエトセトラ

ふだん、牛肉を好んで食べていても、ウシのこととなるとあまり気にしないもの。そこで、ウシってどんな動物なのか、あまり知られていないことを紹介してみよう。

この地球上には十二億頭を超えるウシが生息するといわれているが、生物分類上はすべて一つの仲間に属する。

すなわち、動物界脊椎動物門哺乳綱偶蹄目ウシ科ウシ属のウシとなる。

ウシ属にはほかにガウア（東南アジアに少数生息）、バンテン（インドネシアを中心に生息）、ヤク（チベットに生息）、コープレイ（インドシナにわずかに生息、一九三七年に発見）という仲間がいる。また一六二七年にポーランドを最後に絶滅したオーロックスもウシ属であった。

ウシの品種としては約二百種あり、全世界の北緯六十度から南緯四十度の間に広く分布している。大別すると二つのグループに分けられる。

一つはヨーロッパおよびアジア北部原産のコブ（肩峰・ハンブという）のないウシであり、もう一つはインド地方原産のコブのあるゼビューウシである。

そのほかアフリカを中心にサンガ（コブなしウシとゼビューウシの交雑種）とよぶウシがい

る。

また、野生化した小集団もあり、イングランド北東部のチリングラム公園のものが最も古く有名で、十三世紀に公園ができたときから生息しているという。

すべてのウシは特徴のある歯の配列をしている。

全部で三十二本の歯を持つが、上アゴには大白歯以外の歯はない。寿命は数年から数十年の幅がある。長寿記録としては、ウェールズ地方で飼われていた肉用牛が一九五六年に四十歳で死んでいるが、おそらくこの牛がナンバーワンであると思われる。

妊娠期間は二百八十三日前後で、季節性はない。双子はまれで、生後一時間以内で立ち上がるというたくましさだ。

